

令和3年12月号 (2016撮影)

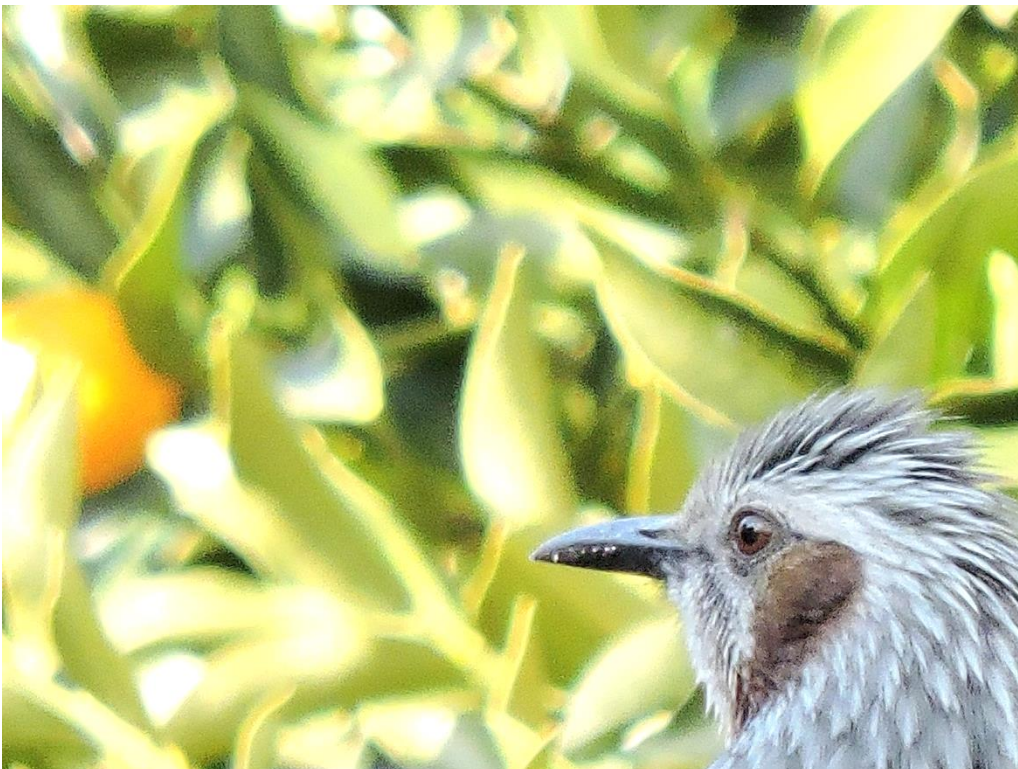
1. ヒヨドリ【鶇】 (スズメ目ヒヨドリ科ヒヨドリ属) (デイパーク大府遊歩道周辺)

体長27~29cmほど。ムクドリよりほっそりしていて、少し大きいぐらいです。日本ではほとんどの地域で見ることが出来る留鳥です。寒い地方では、冬は南に移動するようです。雑食性で、色んなものを食べるようですが、甘いものが好きみたいで、椿の蜜などが好物みたいです。名前の由来は、鳴き声「ヒーヨ・ヒーヨ」からきているようです。朝鮮半島、サハリン、台湾、フィリピンなどに生息しているようですが、ほとんどが日本に生息していて、海外の



バードウォッチャーはぜひ見てみたい野鳥の一つになっているようです。また平安時代にはよく飼われていたようで、とても人になついて、飼い主を見分けることが出来たようです。源平合戦の一つで、一の谷の戦いの鶇越(ひよどりごえ)は、ヒヨドリが群れで移動する場所で、地名が付いたようです。

写真のヒヨドリは、キンカンを狙っているところですが、つついて食べるのかと思いきや、この後キンカンをもぎ取り、一飲みにして飛び去って行きました。まさ



か飲み込むとは思いませんでした。大きさから言っ
て、キンカン一つで腹いっぱいになりそうですよね。
今の時期、ミカンを切っておくと、メジロやヒヨドリが来ますが、ヒヨドリが集まったメジロを追い払ってしまいます。
目つきもするどいですよね
ーなんとなく。